

1年生対象の「制服着こなしセミナー」が開催されました

講師：武藤恵美さん（株式会社トンボ デザイナー）

学校の制服の着方だけでなく、社会での服装の役割やマナー、ルールについて学びました。

これまでの自分の着方は？

- ・何となく着ていた
- ・ポケットのふたが中に入っていた
- ・きちんと着ている
- ・ワイシャツにしわがあった
- ・ズボンを少し下げてはいていた
- ・清潔に気をつけて着ていた
- ・ネクタイが曲がっていた
- ・あまり着方を意識していなかった
- ・ベルトをしていない時があった
- ・袖のボタンを閉めていなかった
- ・黒いアンダーシャツをワイシャツの下に着ていた
- ・カーディガンの袖やすそがブレザーから出ていた
- ・ブレザーやシャツ・ブラウスの一番上のボタンを閉めていなかった

これからは？

- ・もっときれいにネクタイを結べるようにしたい
- ・ズボンは上げてはく
- ・ワイシャツの下に着るインナーは柄物を避ける
- ・第1ボタンを閉める
- ・ボタンを締めてスキのない着こなしをしたい
- ・着崩さない
- ・セーターが出ないように着たい
- ・ネクタイリボンをあげる
- ・タイトアップを心がけたい
- ・家を出る前に確認したい
- ・バランスや見た目を考えて着たい
- ・TPOを意識して着たい
- ・自覚とプライドを持って着たい
- ・これまで以上にしっかり着こなす
- ・この制服に誇りを持って着たい
- ・福商生としてしっかり着こなしたい
- ・周りから見てもきちんとしていると思われる着方をしたい

OnDuty(責任ある時間)と
OffDuty(自由時間)をしっかりと
区別して生活したい。

知らないことがたくさんあった。インナーが
透けてはいけないことを知り、色や柄などは
着ないようにしようと思った。

制服の着こなし以外にも
多くのことが学べた。

着崩しと着こなしとは
違うんだとわかった。



シャツは昔パンツだと聞いて
驚いた。むやみにシャツを出さ
ないようにしようと思った。

人は見た目で見られることがわかった。
変な人と思われぬようにしっかり着こなしたい。

社会に出てからはブレザーの下にはカーディ
ガンではなく、ベストを代わりに着たい。

改めて自分の服装を
見直すことができた。

スカートを短くはいたりするより、
決まった長さではいていたほうが
かっこいいなと思った。

「何より自覚が大切であること」とい
う言葉が耳に残った。自分に責任を持
ち、しっかりと福商生という自覚
を持って制服を着こなししていきたい。

いくら優秀な人材であっても服装に
よって印象が変わると思った。

制服を着る意味を知ることができた。

セミナーで印象に残ったこと、ことば、感想

今まで普通だと思っていた着方が
良い着こなしではなかったことに驚いた。

「着崩し」というものが意外に
多いことがわかった。

「1人がだらしのない着方をしていると、
それがその学校の印象になってしまう」
という言葉が印象に残った。

同じ服を着ることで団結力が
上がることに納得した。

制服など服装でたくさんのことを
意味しているのだとわかった。



TPOを考えて場面にあった
服装を心がけたい。

いつも見られていると
いう意識を持ちたい。

自分ではきちんと着ていると
思っても着崩しと言う話だった
ので驚いた。